

2023年11月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

| | | | |
|----------|-------|----------------------|-------|
| 大 阪 店 | +19.1 | 柏 店 ※3 | △3.6 |
| 堺 店 | △4.3 | (株) 高島屋 各店計 | +10.2 |
| 京 都 店 ※1 | +17.6 | (株) 高島屋 各店計 ※4 | +11.7 |
| 泉 北 店 | △1.4 | 岡 山 高 島 屋 | +2.1 |
| 日 本 橋 店 | +9.8 | 岐 阜 高 島 屋 | +8.3 |
| 横 浜 店 ※2 | +1.8 | 高 崎 高 島 屋 | +4.4 |
| 新 宿 店 | +13.1 | 国 内 百 貨 店 計 | +9.8 |
| 玉 川 店 | +2.2 | 国 内 百 貨 店 既 存 店 計 ※4 | +11.2 |
| 大 宮 店 | △8.5 | | |

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

また、9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それを調整した実質では前年比+20.2%となります。

※2 2023年2月に営業を終了した「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」の前年実績を除いた実質では前年比+3.9%となります。

※3 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

※4 2023年1月に営業を終了した立川店の前年実績を控除しています。

■ 概況

○11月度の店頭売上高は、国内顧客・インバウンドとも好調に推移し、前年・2018年を上回りました。

高額品が堅調だったことに加え、気温の低下に伴いコートやマフラー、手袋など冬物衣料雑貨にも動きが見られました。

| | | | | | | |
|-------------|-----|---------|--------|------------|--------|--------|
| 店頭売上高 | 前年比 | +9.8% | 2019年比 | +10.3% (※) | 2018年比 | +5.7% |
| 免税売上高 | 前年比 | +121.4% | 2019年比 | +75.5% | 2018年比 | +52.7% |
| 免税を除いた店頭売上高 | 前年比 | +4.3% | 2019年比 | +6.2% (※) | 2018年比 | +2.4% |

(※2019年10月 消費増税)

○店舗別売上高は、大阪店、京都店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、岡山店、岐阜店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類による14店舗ベース)は、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、子供情報ホビー、スポーツ、リビング、美術、食料品、サービスが前年実績を上回りました。

以 上